

Monthly Repo. ならやま

徳地 恵男

12月24日(木) 活動 曇り 72名

今年最終の日となる。活動は半日。各グループでミーティングの後、倉庫の片付けと整頓、周辺の掃除を行う。大きく立派な門松が入口に作られ、手作りのしめ縄も飾られて新しい年を迎える準備が整えられる。終礼では会長より

コロナ禍の中で自粛期間もあったが無事に活動が続けられたことへの感謝とお礼の挨拶がある。今年入会された方に感想を聞くと「皆さんと活動できて本当によかった。みんないい方



で人生勉強にもなります」と答える。「よいお年を」と声をかけあい、大きく育った野菜や葉ボタンをかかえ、各自家路へと向かう。

1月7日(木) 活動 曇り後雨 71名

新しい年が始まる。朝の会で会長の新年の挨拶がある。今年は本会20周年となり記念事業が企画されている。コロナ感染で心配な面はあるが、やるという意気込みをもっていこうとの話。毎年餅つき

の行事があるが七草粥のみとなる。七草はならやまフィールドで花



班が野草を摘み、炊事・水当番がお粥を炊く。午前は各グループ打合せの後活動に入る。昼前

から雨模様となり、BCに戻るころには冷たい霰まで落ちてくる。大釜で炊きあがった熱々の七草粥を一緒にいただく。外は寒いですが体も心も温まる。午後から記念植樹が予定されていたが、雨がやまず中止となり次週に延期される。

1月14日(木) 活動 晴れ 75名

近畿大学 北川先生、学生3名

寒い日が続いてきたが、明るい日差しの陽気となる。朝の会では新春ならやま研修会の案内がある。午前中里山Gは榎木の作成、マキ棚周辺の整備、クラブ・ユートピアはツツジの剪定と下草刈りを行う。エコGはダイコンなど野菜の収穫、景観Gは実りの森の竹林整備をする。ビオ班は全体

の点検、花班は草花の霜よけを作る。パトGは丸太階段の改修、メンテ班は展望



広場の整地と枕木の施設工事をする。果樹Gは梅の剪定を行う。

昼の食事と野菜販売の後、歩いて実りの森まで移動する。午後1時半から10年継続会員を顕彰して植樹式が実施される。皆に囲まれなが



ら継続会員が富有柿の苗一本を植樹する。喜びの声と大きな拍手にお祝いの会は大いに盛り上がる。植樹式の後には解散となるが、展望広場の真砂土搬入は、その後も続けられる。